



エミールだより

10月

エミール保育園
園長 江口 浩三郎

「マリア・モンテッソーリの紹介」

涼しい風が吹くなかで、運動会を無事終えることができました。いつものことながら、子どもたちの元気はつらつとした姿を見るのは楽しいものです。自分の身体が思うように動かせるようになってきている喜びや、友だちと力を合わせてのプレーの楽しさを十分に味あったことでしょう。成長への一里塚を、確実にしかも力強く通り過ぎているのを感じさせられた一日でした。

ところで今回は、「マリア・モンテッソーリ」の紹介をいたします。

彼女は、1870年にイタリアのアンコナの近くで生まれました。クラスの授業で先生が、「有名人の伝記を数多く暗記して、みんなも有名人になりなさい」と言った時、「私は、伝記を暗記させられる子どものことが心配だ」と言ったそうですから、相当高い意識を持っていた人でしょう。

大学は、当時女子の入学は不可能とされてたローマ大学の医学部に入り、イタリア初の女子医学生となりました。それくらい男尊女卑の時代ですので、たったひとりで夜間に生体解剖をしたこともあったそうです。

精神科医の道から障がい児治療へと変わり、当時高名な研究者であった「イタル」や「セガン」の指導を受けています。そしてイタリアで最初の、公立精神薄弱児学校の指導者になりましたが、ここで「自分の指導方法が精薄児に効果があるんだったら、学校で低能児と呼ばれている子どもにも効果があるはずだ」と確信しました。そしてある機会を得てローマのサンロレンツォというスラム街で、保育や教育から見放されている子を対象とした「子どもの家」を設立したのです。またその間、ローマ大学の教授として「女性の解放と地位向上のための世界大会」などで活躍しています。子ども主体の環境が整えられた「子どもの家」では大きな成果があがり、世界中から見学する者が集まり、またロスアンゼルスでの万博でも、「モンテッソーリクラス」が紹介されました。第二次大戦中はインドで活動をし、戦後は自由の国オランダを中心として普及を続け、1951年に亡くなりました。

40数年にわたる子どもとの関わりのなかで、「私の本分は調停者である。おとなと子どものたたかいの中で、弱い立場の子どもを守るための」という言葉を残していますが、実践を続ける私たちにとっても、この言葉ををかみしめていかなければと思っています。

(園長より)

マリア モンテッソーリ



保育参観のおしらせ

今年第1回目の保育参観です。



内容は下記のとおりです。参観・講演会・給食試食会など盛りだくさんの内容です。たくさんのご参加お待ちしております。くわしいご案内とお申込み用紙は後日配布します。また裏面にも掲載していますのでごらんください。

日 時: 10月17日(土)

日 程: 9:00~10:10 保育参観

10:20~10:30 来年度の入園について 園長より

10:30~11:50 牛島達郎氏 講演会

12:00~13:00 試食懇親会

会 場: 各クラス・2階ホール



10月の行事予定

1	木	内科健診
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	内科健診
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	体育の日
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	保育参観
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	避難消火訓練
23	金	新入園書類 相談会
24	土	
25	日	
26	月	誕生会
27	火	
28	水	のぼらコンサート
29	木	芋ほり遠足
30	金	
31	土	

体育教室 5歳児

2・9・16・23日 金曜日

絵画教室 4歳児 8日(木)

5歳児 未定